

28年度東部地区公開講座（ことばパタパタカード）のレシピ

〈 ねらい、目的 〉

カードをめくって見たり、声に出したりして語彙を増やす教材です。子どもの実態や目的に応じて。カテゴリーや関連語等の言葉を集めます。

〈 材料 〉

- ・ ホワイト模造紙(220×312mm) 4枚
- ・ A4用紙 2枚
- ・ カードリング 2個
- ・ CD・DVD両面ケース(ファイルタイプ) 5枚(5カラー)
- ・ 言葉の絵カード用イラストプリント
仲間ことば(体・気持ち・動き)

(準備物)

のり、はさみ、両面テープ、30cm定規

〈 作り方 〉

- ① 模造紙4枚を切って、10×10cmの大きさの正方形を24枚作ります。
- ② A4用紙2枚を線に沿って切り、9×9cmの正方形を24枚作ります。
- ③ ①で作った模造紙の正方形を半分に折ります。
- ④ 集めることばの数によってのりづけする模造紙の枚数を決めます。
※ 枚数×2のことばとなります。(2枚で4面、3枚で6面、4枚で8面)
- ⑤ 枚数が決まったら、半分に折った模造紙を両面テープでつなぎ合わせ、その上に9×9cmの正方形用紙でのりづけして、パタパタカードの出来上がりです。
- ⑥ カードの空白部分には、言葉の絵カード用イラストプリントから必要なイラストを切り取り、糊ではります。(貼るイラストやことばの数は、子どもの実態に応じて選んで下さい。)



※ CD・DVD両面ケースをカード入れとして活用します。カテゴリー別によって袋の色を変えると整理しやすいです。(2面×5枚で 10ポケット)

〈 使い方 〉

- (1) 語彙の少ない子どもの個別支援として(すきま時間の活用)
- (2) 言葉の広がり「〇〇パタパタカード作り」(クラス全体でゲーム的な活用)
※ 宿題等で各自作成、友だちが作ったパタパタをシェアしあい、何のパタパタなのか考えさせるのも良いです。

☆ 内容としては、語想起(音韻条件、意味条件)、関連語等

- ・ しりとりにパタパタ か→かめ→めだか→か (一巡する形)
- ・ 連想パタパタ いちご→あか→ポスト→てがみ→きって(連続的な連想)
- ・ 関連パタパタ すいか→はなび→キャンプ→ソーメン(カテゴリー)
- ・ 頭字パタパタ あひる→あめ→あし→あり

☆ 発展して、中学年では、

- ・ 同音漢字パタパタ 走→草→相→早(音読み…ソウ)

【参考文献】 葛西ことばのテーブル 100枚プリント第19集

【引用イラスト】 ちびむすドリル 言葉の絵カード